

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 11月

令和4年11月1日の推計人口 1,281,938人
世帯数 558,368世帯

参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和4年11月1日現在の推計人口は、1,281,938人で、前月(1,282,571)に比べ633人の減少となった。

市部では大村市(57)の1市で増加し、長崎市(240)、平戸市(79)、諫早市(70)、五島市(59)、西海市(36)、南島原市(32)、佐世保市(30)、対馬市(27)、松浦市(21)、雲仙市(21)、壱岐市(18)、島原市(13)の12市で減少した。

郡部では、長与町(20)、東彼杵町(7)の2町で増加し、川棚町(19)、時津町(14)、波佐見町(14)、新上五島町(14)、佐々町(9)、小値賀町(1)の6町で減少した。

自然動態は、出生数760人、死亡数1,553人で793人の減少、社会動態は、転入者数2,892人(県内転入を含む)、転出者2,732人(県内転出を含む)で、160人の増加となった。

2 世帯数

令和4年11月1日現在の世帯数は、558,368世帯で前月(558,332)に比べ36世帯の増加となった。

(注)

・異動人口推計 = R2 国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…9月

1人当たり現金給与総額 244,786円
対前月比 1.8%減少
対前年同月比 1.3%減少

1 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は244,786円で、前月に比べ1.8%減少し、前年同月に比べ1.3%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は241,592円で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ2.3%減少した。

特別給与額は3,194円で、前年同月に比べ、2,162円増加した。

2 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は144.1時間で、前月に比べ0.3%増加し、前年同月に比べ0.6%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は132.8時間で前月に比べ0.2%減少し、前年同月と比べ、1.4%減少した。

所定外労働時間数は11.3時間で、前月に比べ6.6%増加し、前年同月に比べ11.9%増加した。

3 雇用

9月の常用労働者数は213,646人で、前月に比べ、0.2%増加し、前年同月に比べ0.5%増加した。

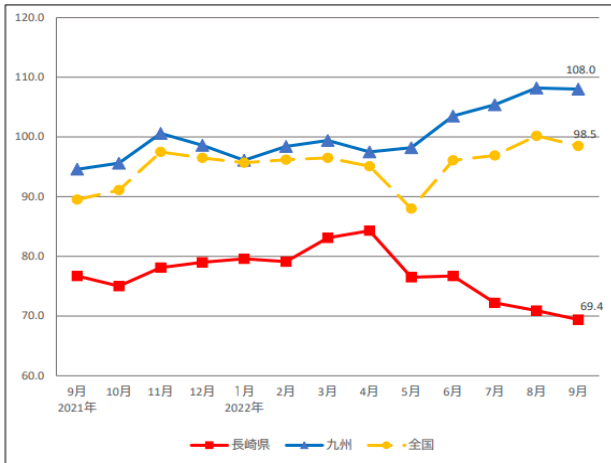
【鉱工業生産指数】…………… 9月

令和4年9月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	69.4	2.1	73.7	11.5
九州	108.0	0.1	114.4	14.2
全国	98.5	1.7	101.9	9.6

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2022年9月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が69.4で対前月比は2.1%の減、原指数は73.7で対前年同月比は11.5%の減となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、繊維工業、輸送機械工業など5業種が上昇し、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	109.2	包装機械
繊維工業	4.3	漁網・陸上網
輸送機械工業	1.5	新造船

主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	26.0	交流電動機
電子部品・デバイス工業	7.0	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	3.6	生コンクリート

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 10月

総合指数(R2=100)

103.8

対前月比(%)

+0.4

対前年同月比(%)

+3.7

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、103.8である。

前月比+0.4%で、主な上昇要因は「食料」の+0.8%、「光熱・水道」の+1.1%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の0.3%、「住居」の0.1%である。

前年同月比は、6月は+2.3%、7月は+2.9%、8月は+3.1%、9月は3.0%と推移した後、10月は+3.7%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.1で前月比+0.4%の上昇であり、前年同月比は+3.4%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

家具・家事用品	1.3 %
光熱・水道	1.1 %
被服及び履物	0.9 %
食料	0.8 %
保健医療	0.6 %
交通・通信	0.2 %
諸雑費	0.1 %

同水準の費目

教 育	±0.0 %
-----	--------

下落した費目

教 養 娯 楽	0.3 %
住 居	0.1 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 10月

消費支出(一世帯当たり) 350,805円

前月比 12,067円増(3.6%増)

令和4年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は350,805円で、前月比3.6%の増、前年同月比は42.2%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は86.6%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。